JP-Y2-61-9124

In a thrust bearing for an overhead camshaft, which receives a thrust load under an adequate oil lubrication, it is known that, as shown in Fig. 1, a camshaft 4' in an upper cylinder head chamber is provided with a ring shaped thrust receiving member 12', which is formed integrally with the camshaft and contacts a side surface of a bearing 5', or, as shown in Fig. 2, a camshaft 4" is provided with a ring shaped thrust receiving member 12", which is formed integrally with the camshaft and is slidably fitted into a groove 16" of a bearing 15" on the cylinder head. According to the present invention, as shown in Figs.3 and 4, a ring shaped thrust receiving member 12 is a separate body from the camshaft 4 and fastened to end of the camshaft by a bolt 14. The ring shaped thrust receiving member 12 is slidably fitted into a groove 16 of a bearing 15.

⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公告

⑫実用新案公報(Y2)

昭61 - 9124

@Int Cl.4

識別記号

庁内整理番号

2000公告 昭和61年(1986)3月22日

F 01 L 1/04

7049-3G

(全3頁)

の考室の名称

オーバヘッド カム軸のスラスト 軸受装置

顧 昭55-96544 ②実

開 昭57-20504 ❸公

29出 昭55(1980)7月8日 ❸昭57(1982)2月2日

何考 案 者 68考 案 者 治 栄 池田市桃園2丁目1番1号 ダイハツ工業株式会社内 ダイハツ工業株式会社内

池田市桃園2丁目1番1号

⑪出 願 人

上 ダイハッ工業株式会社

池田市ダイハツ町1番1号

30代 理

暁夫

審査

人

弁理士 石井 夫 安

99参考文献

実開 昭53-71110(JP,U)

実開 昭54-165607 (JP, U)

原

の実用新案登録請求の範囲

シリンダヘッドの上面室内に、一端が該上面室 内から突出するように軸支したオーバヘッドカム 軸において、該オーバヘツドカム軸の前記上面室 面に形成したスラスト軸受の隣に嵌まるスラスト 受円板を当接し、該スラスト受円板を、カム軸内 にその軸方向の潤滑油通路に設けたタップ孔に螺 合するボルトにてカム軸に取付けたことを特徴と するオーバヘッドカム軸のスラスト軸受装置。 考案の詳細な説明

太考案は、シリンダヘッドの上面に軸支したオ ーバヘッドカム軸におけるスラスト荷重の軸受装 置に関するものである。

一般にオーバヘツドカム軸には、機関のクラン 15 ク軸からの動力伝達をリンクチエン又は歯車で行 なうものと、タイミングベルトで行なうものとが あり、前者のものは、動弁機構を有するシリング ヘッド上面室とリンクチェン又は歯車のケースと は、動弁機構に対する潤滑油でリンクチェン又は20る。ところが、このようにカム軸にスラスト受を 歯車を同時に潤滑できるように互に連通している ため、その間においてカム軸を軸支する軸受の外 側面にスラストプレートを設けてその両面にカム 軸の段部を当てるようにすることにより、カム軸 のスラスト荷重を簡単に支受できると共に、当該 25 自由に選択することができないのであつた。 スラスト軸受部を潤滑できる。しかし、後者のタ イミングベルトによる場合には、タイミングベル

トに潤滑油が付着して、ベルトが損傷するのを防 ぐためにシリンダヘッド上面室内の潤滑油がタイ ミングベルトケース箇所に流れないようにする必 要があり、カム軸がシリングヘッド上面室から突 内における端部には、外周がシリンダヘッドの上 5 出する箇所の軸受は、潤滑油が外側に漏れないよ うな構造にしなければならないので、この軸受の 外側面に前記のようにスラストプレートを設けて スラスト荷重を支受すると、当該スラスト軸受部 を潤滑することができない。

> それ故、従来この種のタイミングベルト駆動式 10 のオーバヘッドカム軸は、第1図に示すようにシ リンダヘッド上面室内におけるカム軸 4′に、リ ング状のスラスト受12′を一体形に造形して、 これを軸受5′内側面に当てるとか、或いは第2 図に示すようにシリンダヘッド上面室内における カム軸4°に一体形に造形したリング状のスラス ト受12″を、シリンダヘツド上面に設けた軸受 15"の隣16"に嵌合することにより、スラスト 荷重を正常な潤滑油の下で支受するようにしてい -体形に造形することは、カム軸全体の加工がス ラスト受の加工分だけ増えるので、加工工程が複 雑になると共に加工工数が増大して製造コストが 可成り嵩むのであり、しかもスラスト受の材質を

本考案は、このようにタイミングベルト駆動式 のオーバヘッドカム軸のスラスト荷重を、シリン

(2)

ダヘッド上面室内で支受するにおいて、シリンダ ヘッドの上面における軸受の溝に嵌まるスラスト 受円板をカム軸とは別体とし、このスラスト受円 板を、カム軸の他端部つまりタイミングベルトプ ーリが取付かない端部に対して、当該他端部にそ 5 の軸方向の潤滑油通路に設けたタップ孔に螺合す るポルトの締結にて取付けることにより、カム軸 全体の加工の増大を防止すると共に、スラスト受 円板の材質を自由に選択できるようにし、且つ前 ルトを、カム軸における潤滑油通路の盲栓に兼用 したものである。

以下実施例の図面について説明すると、図にお いて1はシリンダヘツド、2は該シリンダヘツド 室3内に軸受5,6にて軸支したオーバヘッドカ ム軸を各々示し、該カム軸4の一端が前記上面室 3から突出する箇所の軸受5にはその外側部にオ イルシール 7 を備えて、上面室 3 内の潤滑油が当 り、この軸受5より上面室3外に突出するカム軸 4の一端には、機関のクランク軸(図示せず)か らの動力伝達用のタイミングベルト 9 が巻掛けさ れるブーリ8が嵌着されている。また、カム軸4 え、該潤滑油通路10は前記オイルシール7付き 軸受5箇所において、シリンダへツド1側の潤滑 油通路11と連通し、潤滑油ポンプ(図示せず) より潤滑油通路11を通つて送られた潤滑油は、 軸受5箇所を潤滑しつつカム軸4における潤滑油 30 に、部品点数が少なくなるから、製造コストを著 通路10に入り、そこからカム軸4における他の 軸受6又はカム軸4上における各カム軸を潤滑す るようになつている。

そして、前記カム軸4の上面室3内における端 部には、中心にポルト孔を有するスラスト受円板 35 12を当接する一方、該カム軸4の端部に開口す る前記潤滑油通路10の内面には、カム軸4の軸 方向にタップ孔13を設け、該タップ孔13に螺 合するボルト14の締結によって前記スラスト受 円板12をカム軸4の端面に取付け、該スラスト 40 受円板12の外周を、シリンダへツド1の上面に 造形したスラスト軸受15における隣16内に嵌 挿して成るものである。

このようにすれば、カム軸4に対する軸方向の スラスト荷重は、シリンダヘツド1の上面におけ るスラスト軸受15の隣16に嵌まるスラスト受 円板12によつて支受されることになり、スラス ト受円板12と隣16との指動面は、シリンダへ ッドの上面室 3 における動弁機構(図示せず)又 はカム軸4の軸受6等に対する潤滑油によつて潤 滑されるのである。

この場合、スラスト受円板12をカム軸4と別 記スラスト受円板をカム軸の他端部に締結するボ 10 体としてカム軸4に対して取付けるようにしたこ とにより、スラスト受円板12はカム軸4とは異 なった材質にすることが可能であるから、例えば スラスト受円板12を粉末焼結合金製にしこれに 潤滑油を含浸して自己潤滑性を持たせることでそ 1の上面室3を覆うヘッドカバー、4は前記上面 15 の摩擦対策向上を図るようにすること等が容易に できる一方、スラスト受円板12のみの部品交換 ができるのであり、また、スラスト受円板12を カム軸4と別体としたことにより、カム軸4自体 の加工が、これにスラスト受円板を一体的に設け 該軸受5より外側に漏れないように構成されてお 20 た場合よりも簡単になり、且つ、このスラスト受 円板12をカム軸4に対して取付けるためのボル ト14にて、カム軸4内に穿設した潤滑油通路1 0の一端を塞ぐことができ、換雪すればボルト1 4をスラスト受円板12の取付けと潤滑油通路1 内には、その軸線に沿つて潤滑油通路10を備 25 0の盲栓とに兼用できるから、スラスト受円板を カム軸に対して別のボルトで取付ける場合よりも 部品点数が少なくなるのである。

> 従って本考案によれば、オーバヘッドカム軸自 体の形状が簡単で、その加工が容易になると共 しく低減できる一方、スラスト受円板の材質をカ ム軸とは無関係に任意に選択できるから、その耐 久性及び潤滑性をより向上できる効果を有する。 図面の簡単な説明

> 第1図、第2図は従来の装置の図、第3図は本 考案の実施例装置の図、第4図は第3図のⅣ─Ⅳ 視拡大断面図である。

1……シリンダヘツド、2……ヘツドカバー、 3 ……上面室、4 ……オーバヘツドカム軸、5, 6……軸受、10……潤滑油通路、12……スラ スト受円板、13……タップ孔、14……ボル ト、15……スラスト軸受、16……溝。

(3)

実公 昭 61-9124







